



# 「超電導・加速器技術の先端医療への貢献」

主催：(公社)低温工学・超電導学会 東北・北海道支部  
後援：岩手県、盛岡市、岩手大学、盛岡商工会議所、  
岩手県ILC推進協議会

日時：平成29年11月11日(土)14:00～16:00

場所：岩手大学工学部テクノホール

(盛岡市上田4丁目3-5 : 駐車場あり)

参加費：聴講無料(事前申込不要:お気軽にお越し下さい)

## ■ 講演1(14:00～15:00)

### 「超電導を医療に活かす —MRIでここまでわかる—」

講師：岩手医科大学 医歯薬総合研究所 所長

**佐々木 真理 先生**



講演要旨：

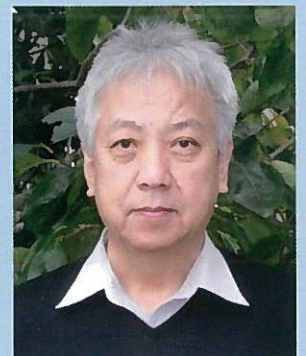
磁石を使って体のなかを調べる磁気共鳴画像(MRI)は、全国6千以上の医療機関で稼働していますが、その多くは超電導技術を用いています。超電導磁石による強力な磁場で初めて実現した様々な画像が医療現場で活かされています。

## ■ 講演2(15:00～16:00)

### 「ホウ素中性子捕獲療法(BNCT)等 の加速器を用いた医療応用」

講師：高エネルギー加速器研究機構名誉教授・  
岩手大学客員教授

**吉岡 正和 先生**



講演要旨：

【超伝導技術】と【宇宙誕生の謎を探る加速器】および【がん治療や診断技術】はトライアングルをなしています。その最前線と最近開発が進められている【加速器を使ったBNCTホウ素中性子捕捉療法】について紹介します。